

ミドリカナワラビ	<i>Arachniodes nipponica</i> (Rosenst.) Ohwi	絶滅危惧Ⅱ類
		オシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が明るい林縁部など変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(荻山恒弘)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く這い、葉はやや接近して出る。葉は長卵形で2-3回羽状複葉。葉柄は淡紅色で下部に鱗片を密生する。	
生態的特徴	山林中の明るいやや陰湿な林床に生育する。	
分布状況	本州(千葉県以西)から九州に分布する。岐阜県では県南中部に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	山林の開発による生育地の消失、および山林の放置による荒廃で生育環境が大きく変化している。	
保全対策	生育地の開発防止と保全、および山林の整備や除伐など生育環境を維持する活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成